

ブリタニカ・オンライン・ジャパンの人物項目に注目

ブリタニカ・ジャパン株式会社

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、日本語の『ブリタニカ国際大百科事典』と英語の *Encyclopædia Britannica*® をベースとした知のポータルサイト。日本はもとより、世界が認める一流の知識人があなたの調査、学習をサポートします。論文やレポート、ビジネス資料の作成など、さまざまなシーンでご利用になれるサービスです。

◆ブリタニカ・オンライン・ジャパンの人物項目

ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、ブリタニカ国際大百科事典小項目事典、大項目事典、国際年鑑で構成されています。全項目数は 16 万をこえますが、人物項目はその約 20% にあたります。各コンテンツの特徴を人物項目に注目してご紹介すると・・・。

◎小項目事典は「引く事典」

小項目事典は経歴など簡潔にまとめてあり、その人物を知る入口ともいえるものです。

◎大項目事典は「読む事典」

大項目事典は歴史に残るような人物を厳選して掲載しています。1 人の人物について掘り下げた内容で、より詳しく知ることができます。

◎国際年鑑で「世界の動き」を知る

国際年鑑はその年に注目を集めた人物を取り上げます。バックナンバーから、その年がどんな年だったのかを振り返る楽しみ方もあります。

◆人物項目を通してオリンピックのドラマを知る

2013 年は 7 年後の東京オリンピック競技大会の開催が決定し、翌 2014 年 2 月にはソチ・オリンピック冬季競技大会が開催されることもあり、オリンピック競技大会が注目された年でした。1964 年に開催された東京オリンピックを思い出した方も多いのではないのでしょうか。

小項目事典の「東京オリンピック競技大会」項目を見てみると、「南アフリカ共和国は人種隔離政策(アパルトヘイト)を理由に、国際オリンピック委員会 IOC が参加を認めなかった。」とあります。約 50 年前の話ですが、先日死去したネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領の人生と重ね合わせると、アパルトヘイトが撤廃されたいまの南アフリカの状況がより感慨深く感じられます。

そのほか、「東洋の魔女」と言われた女子バレーボールチームの大松博文監督、河西昌枝主将、オリンピック 2 連覇を果たしたマラソンのアベベなどの選手項目から東京オリンピックを知ることができます。

ブリタニカ・オンライン・ジャパンで取り上げている東京オリンピックとかかわりのある人物はこれだけではありません。条件検索機能^(*)を利用すれば、「東京オリンピック競技大会」の記事中で取り上げている人物以外にも、さまざまな人物を探し出すことができます。その一人が日本を代表する建築家丹下健三です。丹下は東京オリンピックの会場となった代々木国立屋内総合競技場(代々木競技場)の設計で一躍その名を全国に広めました。大項目事典では、建

▼ブリタニカ・オンライン・ジャパンのトップページ

The screenshot shows the Britannica Online Japan homepage. At the top, there is a search bar and navigation links. The main content area is divided into several sections:

- 小項目事典 トピックス**: A section for small project encyclopedia topics, mentioning a list of 100 countries and their capitals.
- 大項目事典 人名項目**: A section for large project encyclopedia entries, mentioning a list of 100 names and their biographies.
- 国際年表**: A section for international year tables, mentioning a list of 100 years and their events.
- 国際年鑑**: A section for international yearbooks, mentioning a list of 100 years and their events.
- 今日の出来事**: A section for today's events, mentioning the birth of a person in 1818 and the death of a person in 1953.
- フィランソロビー**: A section for philanthropy, mentioning the work of a person in the 1990s.

築を志したのはフランスの近代建築家ル・コルビュジエの影響であったこと、その後どのような作品を経て、日本の近代建築の確立者となったかが記されています。丹下については、英語の百科事典 *Encyclopædia Britannica*[®]でも取り上げており、記事ページ下部に用意されているリンク(*2)をたどって簡単に *Encyclopædia Britannica* の「Tange Kenzo」に移動することができます。なお、2020年の東京オリンピックの会場となる新国立競技場の設計は、イラク生まれのイギリスの女性建築家、ザハ・ハジドが担います。国際年鑑では2004年版で注目の建築家として彼女を取り上げています。

国際年鑑の人物項目は、小項目事典、大項目事典とは異なる視点から、その年の注目人物を取り上げています。オリンピック競技大会で活躍した競泳平泳ぎの北島康介は2003年版、2005年版、2009年版に掲載されています。2003年版ではアジア競技大会で世界新記録を出したことで取り上げられました。2004年のアテネ・オリンピック競技大会、2008年の北京オリンピック競技大会での金メダル獲得の布石がここにあったといえるでしょう。2009年版では北島のコーチとして注目を集めた、平井伯昌も掲載されています。歴史上の人物からときの人まで、人物項目の楽しみはその人の人生を垣間見ることにあるといえます。

*1 「条件検索」はAND条件やOR条件、芸術や医学などの分類など、詳細な条件でデータベース全体を検索することができる機能です。

*2 *Encyclopædia Britannica* に同意項目が存在しない場合はリンクはありません。

◆分野別・テーマ別メニューから人物項目を探る

ブリタニカ・オンライン・ジャパンにはさまざまなテーマのメニューが豊富に用意されており、そのなかの一つ小項目事典のトピックス「世界の人名」は人物を調べる際に欠かせません。分野別やテーマ別に整理された人物項目リストからヒントを得られることもあるでしょう。スポーツ分野ではオリンピック競技大会で活躍した選手を含め約260項目が掲載されています。また、小項目事典では2012年のロンドン・オリンピック競技大会で活躍したマイケル・フェルプス、ウサイン・ボルト、内村航平、吉田沙保里、ソチ・オリンピックでの活躍が期待される浅田真央などを近々リリースする予定です。

小項目事典トピックス「その他」には「オリンピック競技大会」「オリンピック冬季競技大会」の一覧があります。それぞれの大会にドラマがあり、興味深く読むことができます。きたるオリンピックに向けて、一読してみるのもよいかもしれません。

◆無料トライアル受付中

ブリタニカ・オンライン・ジャパンに関するお問合わせ・お申込みは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部(電話:03-6310-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp)までお願い致します。

*お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

▼条件検索で「東京オリンピック」をキーワードに分類で「人物」を選択した例

The screenshot shows the search results for '東京オリンピック' on the Britannica Online Japan website. The search criteria are set to '人物' (People). The results list several figures associated with the Tokyo Olympics, including:

- 東郷平八郎** (Tōkoku Heihachirō): 医学博士、政治家。1917年東京大学医学部卒業。1934年同大教授。1946年教授兼任で厚生省医務局長を務め、医療
- アベベ** (Abebe Bikila): エチオピアの陸上競技選手。1960年ローマ・オリンピック競技大会、1964年東京オリンピック競技大会に出場、マラソンで史
- 市川崑** (Ichikawa Kūn): 映画監督。第一作『花ひらく』(1948)。横山泰三のまんがに基づく風刺劇『フーサン』(1953)でジャーナリズム
- 織田幹雄** (Ogita Takanori): 陸上競技選手。1931年早稲田大学卒業。『朝日新聞』記者を経て早稲田大学教授を務めた。日本陸上競技連盟、国際陸上競技連
- 奥原八郎** (Okura Hachirō): 実業家、アシックス会長。1936年鳥取第一中学校卒業。陸軍士官学校を目指したが、肋膜炎のため断念した。太平洋戦争で戦死し
- 河西貞枝** (Kawase Tadahisa): ハレーボール選手。1964年東京オリンピック競技大会で優勝した日本女子バレーボールチームの中心選手。巨港高校卒業後、195
- 魚倉雄策** (Utsukawa Yūsei): グラフィック・デザイナー。1933年日本大学第二中学校卒業後、新建築工芸学院に学ぶ。英文雑誌「NIPPON」のアート・
- 北村久美子** (Kitamura Kumi): 水泳選手。1932年8月、高知商業学校3年生のときにロサンゼルス・オリンピック競技大会の1500m自由形に出場、19
- 清川正二** (Kiyokawa Masaharu): 水泳選手。1932年ロサンゼルス・オリンピック競技大会で100m背泳ぎ優勝。1936年ベルリン大会では100m背泳
- 白井童子** (Shirai Dōji): ハレーボール選手。1976年モントリオール・オリンピック競技大会で優勝した日本女子チームの中心選手。旧名尹正順。岡山県
- 鈴木俊一** (Suzuki Shun'ichi): 元東京都知事。1933年東京帝国大学法学部政治学科を卒業。同年内務省に入り、1950年地方自治庁次長、1957年自治事務
- 大松博文** (Ōmura Fumihiro): ハレーボールの監督。1941年関西学院大学高等商業学部卒業後、女子バレーボールの日紡貝塚の監督に就任。1958年初め
- 丹下健三** (Taniguchi Kenzō): 建築家、工学博士。1938年東京帝国大学建築学科を卒業し、前川国男建築設計事務所勤務を経て、1945年同大大学院を卒
- 長沢二郎** (Nagasaki Jirō): 水泳選手。競泳バタフライのドルフィンキック考案者。旧制沼津中学校から早稲田大学高等学院を経て早稲田大学に進む。早稲田大学
- 菅田昌敏** (Sugata Masatoshi): ハレーボール選手。広島・崇徳高校から専売公社広島に入社。1964年20歳で東京オリンピック競技大会の日本代表とな
- 原弘** (Hara Hiroshi): グラフィック・デ